がん化学療法レジメン

第1版	改訂日	

登録日	H20.11.13	実施区分	□ 入院のみ ■ 入院及び外来	初回入院	■ 必要
レジメン番号	大腸(CK)−006	診療科名	消化器内科・消化器外科		
レジメン名	Bev(5)+FOLFIRI療法				
レジメン補足	ベバシズマブ+イリノテカン+レボホリナート+フルオロウラシル				
がん腫など	結腸・直腸癌				

薬剤名	漏出	投与量	1(週)							2							3							4						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
ベバシズマブ(アバスチン)	炎症	5mg/kg	●																										
イリノテカン(トポテシン、カンプト)	炎症	150mg/m^2	●																										
レボホリナート		200mg/m^2	●																										
フルオロウラシル(5-FU)	炎症	400mg/m^2	●																										
フルオロウラシル(5-FU)	炎症	2400mg/m^2	●	●	●																								

1コース期間	14 日	目標コース数	□有 （ コース）	■無 （PDまで）
点滴時間				
注意事項など	制吐目的に、Day2-3にデキサメタゾンの内服(8mg)もしくは点滴投与(6.6mg)を行うこと			

Day 1

《メイン》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	生食	100mL	15分点滴
	グラニセトロン	3mg	
	デキサメタゾン(デキサート)	9.9mg	
②	生食	100mL	**下記(※)**
	ベバシズマブ	5mg/kg	点滴
	※初回投与時は90分かける。初回投与時の忍容性が良好であれば2回目は60分で投与してもよい。2回目の投与においても忍容性が良好であればそれ以降は30分で投与とする。		
③	生食	50mL	フラッシュ
④	生食	250mL	2時間点滴
	イリノテカン	150mg/m^2	
⑥	生食	100mL	全開点滴
	フルオロウラシル	400mg/m^2	

《側管》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
⑤	**④の投与と同時に投与開始**		
	生食	250mL	2時間点滴
	レボホリナート	200mg/m^2	

⑥の投与以降はインフューザーポンプと末梢持続点滴で以下の投与方法を選択

Day 1-3 (インフューザーポンプ)

《メイン》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
⑦	生食	必要量	46時間持続点滴
	フルオロウラシル	2400mg/m^2	
⑧	生食注シリンジ	10mL	フラッシュ

Day 1-3 (末梢持続点滴)

《メイン》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
⑦	生食	500mL	46時間持続点滴
	フルオロウラシル	2400mg/m^2	
⑧	生食	50mL	フラッシュ